

浅間国際フォトフェスティバル2025 PHOTO MIYOTA

アフターレポート vol.1

浅間国際フォトフェスティバルでは、インクルーシブな社会を目指す取り組みとして「見えない人・見えづらい人の展示鑑賞を考えるモニターツアー」を9月21日(日)に開催しました。



★実施内容★

午 前：スタッフ向け 事前研修

⇒合理的配慮の考え方を学び、視覚に障がいのある方への声かけやサポート方法を実践を交えて確認。

午 後：モニターツアー

⇒視覚障がいのある参加者の方と一緒に会場を巡り、作品の配置や形、大きさなどを言葉で伝え、対話しながら鑑賞。

誰もがフォトフェスティバルを体感できる環境を目指すべく、アクセシビリティと芸術文化の場をつなぐ事業を行っている、株式会社precog(プリコグ)と連携しました。

モニターツアーを通して、具体的な表現で伝えることの難しさと大切さを改めて実感する機会となりました。

得られた気づきや経験を関係者と共有し、より多くの方が安心して文化芸術を楽しめる環境づくりに努めています。



問い合わせ先 産業経済課地域振興係 (32) 3113

御代田町

「地域おこし協力隊」だより

映像を通して見つめる御代田



数年前に登った前掛山
※現在は噴火警戒レベル2のため入山できません



今野 利彦

12月に開催された「私にかかる町」みよた暮らし体験会では、制作していた御代田町の紹介動画を上映する機会をいただきました。参加者の皆さんがあなたを通じて町の雰囲気を感じ取ってくださった様子を見て、改めて御代田の魅力を発信する役割の大切さを実感しました。

11月・12月は公共施設を中心に撮影を進めましたが、暮らしの中で出会う人や景色が町らしさを映し出してくれます。登山が好きで、以前は前掛山や黒斑山によく訪れていましたが、現在はこの町に移住し、撮影を通して“日常の中にある御代田の表情”に魅力を感じるようになりました。これからも町の魅力を丁寧に切り取り、皆さんにお届けできればと思います。

情報発信していくので、
ぜひフォローしてください！



地域おこし協力隊
Instagram

御代田北小学校一般公開授業

～誰もが過ごしやすい学校のための“ふつう”アップデート～

6年2組の児童を対象に、「ふつうは人それぞれ」であることを理解し、その“ふつう”をアップデートする考え方・やり方を学ぶ公開授業をTOCO-TON実践校として開催しました。学校や社会には多様な人がいることを前提のものに変えていくふつうアップデート授業を受け、子どもたちがグループで意見を出し合い、多様な価値観から“ふつう”を問い合わせ直す姿が印象的でした。

また、公開授業を受けた参加者に向けて、“ふつう”アップデートの考え方を共有する「授業とインクルーシブについて語る会」を開催しました。



「授業とインクルーシブについて語る会」
指導・助言者：一般社団法人 UNIVA 野口 晃菜氏(左)
株式会社 LITALICO 山本 直氏(右)

問い合わせ先 教育委員会学校教育係(32)9100

【訂正とお詫び】

令和7年10月27日発行「広報やまゆり11月号」の6ページ「御代田町中学校の全国学力・学習状況調査報告」の中学校結果において、一部記載内容に誤りがございました。
訂正し、お詫び申し上げます。今月号にて、訂正後のものを掲載します。

＜御代田町中学校の全国学力・学習状況調査報告＞

毎年行われている文部科学省による全国学力・学習状況調査の結果を報告します。

○実施期日：4月17日(木) ○実施教科：国語、数学、理科 ○実施学年：中学3年生

【中学校結果】

【国語】全国(公立学校)平均 54.3 長野県平均 55 ●御代田町立中学校は、全国平均を若干下回りました。

【数学】全国(公立学校)平均 48.3 長野県平均 46 ●御代田町立中学校は、全国平均を大きく下回りました。

【理科】実施日により設問が変わっているため、正答率は公開されていません。



戸籍の窓

- 人口16,883人(前月比±0) 男8,367人 女8,516人
- 世帯数8,175世帯(前月比-8) (12月1日現在)

※戸籍の窓は、届出者から了解を得て掲載しています。

※世帯主名、区名は住民票に基づいています。